



# めたせこいあ

至 創 努 校  
誠 造 力 訓

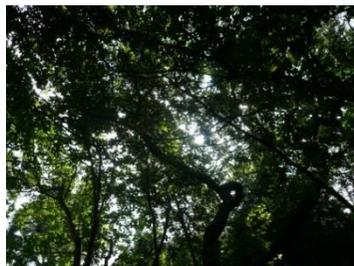
島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937  
電話 (0856)78-0029 FAX (0856)78-0742  
HP アドレス <http://www.shimanet.ed.jp/yoshika/>

## 来年度から環境学習がスタートします

吉賀高等学校 校長 齋藤雅典

吉賀高校は今年度入学生から教育課程を変更しました。新設の「地域創造コース」では環境について学びます。今年度はその準備(高校生版「有機農業塾」)をしてきましたが、町内に経験と知識をお持ちの方がおられ、来年度からはその方に指導をお願いする予定です。豊かな自然に恵まれ、有機農業が盛んな吉賀町について、子どもたちがいっそう理解を深めることができるのではないかと期待しています。

指導をお願いしている滝口先生に授業の構想を紹介していただきました。



## 地域創造コース環境系がめざすもの

滝口 素行

4月から新設される「地域創造コース環境系」の特徴について説明します。2年生から始まり、週2時間の選択科目です。「環境」と名のついた学科、コースは全国的には目新しいものではありませんが、その内容構成については少し工夫を加えました。

まず、第一に、現場主義です。できるだけ現地を訪れ、関係者に話を聞きながら、現場から考えるスタイルをとります。座学とは大きく異なります。

二番目に、町内で盛んになっている有機農業のほか、エネルギー自給などの新しい内容も取り込みます。外部講師を招いての講義もありますが、そうした講義は町民の皆さんに公開し、関心のある方には一緒に聞いてもらうつもりです。教室の垣根を低くします。

第三に、高津川の上流から下流まで、つまり、吉賀町から益田市までが学びの対象です。これは、「森・里・海連環学」と呼ばれる10年ほど前に提唱された考え方にそっています。ここで重要なのは、森とハマグリの関係、護岸工事とアユの関係などといった「関係性」です。これまでのところ、高津川流域の研究はそれほどなされていません。生徒の新たな視点での発見が期待されます。

第四に、環境と産業・地域づくりの両輪で考えます。人口減少にどう対処するかという視点も持っているということなのですが、特産品作りやスイーツ開発ばかりに流れてしまわないよう、自然環境学習とのバランスを大事にします。

第五に、生徒が町政へ政策を提言し、実行してもらうことをめざします。これまで高校生はどうしても「お客さん」でした。環境に責任ある行動の実践者となってほしいところです。

町民の皆さんにも情報やアイデアを提供していただき、「課題を生成しながら発展してゆく教育」になれば、と考えています。ちょっと抽象的ですが、これから形が見えてくるものと思います。

## 各学年で1年間の総まとめを実施

年度末の忙しい時期となりました。保護者、地域の皆様も大忙しと思います。忙しいのは我々大人だけではないようです。吉高の生徒達も1年間の総まとめとして多くのイベントを校内で開催しています。

### 1年生の活動～聞き書き発表会～

2月17日(火)に授業として実施してきた『聞き書き』の総まとめとして、プレゼンテーションを行いました。皆、立派な内容だったように思います。『聞き書き』とは地元の様々な魅力をしらべ、それを取りまとめていく学習です。地元が題材となりますが、授業の本質は探求的な活動を通して情報の取得・整理・他者への発信の方法を学習することです。社会に出てから最も基本となる能力を磨きます。



### 2年生の活動～ワンランク上を目指した取り組み～

2年生は2つの種類のプレゼンテーション形式の発表会を実施しました。

(1) **アントレプレナーシップ教育成果発表会** 2月4日(水)に、本校視聴覚室にてアントレプレナーシップ教育成果発表会を開催しました。本校の2年生が年度初めから、1年時の聞き書きに引き続き取り組んだ、地域の良さをビジネスにつなげるための調査研究活動の成果を発表しました。当日はこの学習に関しご指導ご助言をいただいた地域の方々約20名をお迎えし、生徒たちは緊張した表情で発表を行いました。この経験が彼らのキャリアに活きてくれることを願っています。



【写真】プレゼンテーションに対する質問の様子。発表者以外の生徒も真剣に質問者の話を聞き、自分なりの解答を考えます。

(2) **2年「社会と情報」プレゼンコンテスト** 2月16日(月)にプレゼンコンテストを実施しました。アントレプレナーシップ教育成果発表会と同じくプレゼンテーション形式の発表会ですが、このプレゼンコンテストは別の日に、新たなテーマで発表しました。テーマは『アニメ』です。自分たちが好きなアニメについて調べて、その魅力を伝えるというものです。実に様々な視点で調べ上げ、上手に発表していました。本校はプレゼンテーションを利用した発表会の機会が非常に多く存在します。これは、プレゼンテーションという発表とその発表までの過程が、生徒を総合的に成長させる教育手段としてきわめて有効だからです。また、社会で働くための即戦力的な素養になるからです。文部科学省も表現力の能力を育てることに注目しています。

### 3年生の活動～卒業までしっかり成長！！～

先月号のめたせこいあでもお伝えたとおり、

3年生は現在毎日の登校はしていません。しかし、出校日を設定して、高校生活最後の総まとめと今後のための学習を展開中です。

(1) **小学校給食体験** 3年生全員が1月29日(木)に母校の小学校に訪問して、小学生と一緒に給食を食べたり遊んだりしました。自分自身の原点を振り返る一つのきっかけになったと思います。それぞれの小学校で小学生と思いっきり遊んできたようです。



【写真】朝倉小学校での様子です。久しぶりの給食でした。

(2) **心の扉～人権・同和教育講演会～** 1月29日(木)の1・2限に3年生を対象として、講師に三浦成人さんをお招きして人権・同和教育講演会を実施しました。「生きるということ」と題して、三浦さんのお父さんの話、祖母との生活、学生時代の友人の話など差別と向き合ってきた三浦さんの人生について、熱く語られました。生徒の感想文には「今まで聞いた講演で一番心に響きました。」という意見が多くありました。3年生のみなさん、これまでに学んできた人権・同和教育を今後の人生に生かし、しっか

りと歩んでいってください。

【(3) 就職や進学で社会との関わりが深まる3年生対象講座「ワークルールを学ぼう」】 景気回復による雇用情勢が緩やかに持ち直す中で、高校生や大学生の就職内定率が上昇している一方、新規卒者の卒業後3年以内離職率は、高校卒で約40%、大学卒で約30%となっています。また、労働者を過酷な労働条件の下で働かせ続けたり、パワハラ等で離職に追い込んだりする企業が社会問題となっており(いわゆるブラック企業問題)、労働者・事業主を問わず働くことに関わる全ての人にとって、そのルール(ワークルール)を知る・学ぶことの重要性が高まっています。そこで、4月から社会に羽ばたく3年生に対して、労働関係紛争の解決に取り組んでいる島根県労働委員会より労働者委員 佐藤伸廣氏をお招きして、労働法に関する講座を2月5日(木)の登校日に実施しました。

【(4) 郷土料理講習会】 吉賀町の食生活改善推進委員さんを講師としてお招きして郷土料理講習会を実施しました。地域の方との交流を深めながら、地元ならではの料理を作りながら、そして食べながら自らが育った吉賀の地に思いをめぐらせました。

【(5) 石井教育長講話】 「夢をかなえる」というテーマで講演をされました。『進学・就職の道は分かれても自分の人生を「どう生きていくか」が大切である。「発想力」をキーワードに考えることをやめてはならない。あきらめてはいけない。強い気持ちと前向きな気持ちをもって進んでほしい。自分のキャンパスに描く未来や理想は、明るい色彩を使って絵を(夢を)描いてほしい。「夢」は人から与えられるものではなく「自分でつかむもの』という力強い言葉で卒業生にエールを送っていただきました。吉賀町はそんな夢を持つ青年をいつも応援するし、地域を挙げて見守っていることも付け加えられました。



【(6) 消費者講座】 中国労働金庫より講師の方をお招きして消費者講座を実施しました。現在も消費者として様々な買い物をしていますが、これからの買い物は大人としての責任が伴うものが多く発生します。特に、自分名義のクレジット等を利用する場合も出てきます。その際にしっかり考えておかなければならない法律的な知識などを分かりやすく説明して頂きました。また、マネートラブルを引き起こす事例についての話もして頂きました。



## アントレ発表会(松江)

2月6日(金)島根県立産業交流会館で行われた「高等学校問題解決型学習成果発表会」に、2年の部村友哉、藤田理久、上崎千夏の3名が参加しました。アン

トレプレナーシップ教育で一年かけて作成した、「高速道路からむいかいち温泉ゆ・ら・らへ続く道を造ろう!」というビジネスプランを発表しました。松江南、出雲商業、益田翔陽など県内10校の中トップバッターを務め、発表後は「夢のあるプランだ。」と講評をいただき、90人程の会場を魅了しました。費用に関する質問に困惑する場面もありましたが、大変貴重な経験になりました。



【写真左】学校にはないような大きなスクリーンを使用しました。

【写真右】発表者の3人です。

## 地域クラブ中間報告会(浜田)

浜田合同庁舎内に西部県民センターという部署があります。今年度からその部署が企画した『地域系部

活動設置促進事業』が実施されました。一般的な部活動の区分としてあげられる体育系・文科系につづく、地域系の部活動をつくらうというものです。実は、吉賀高校の地域クラブもこの事業の一つとして活動を実施しています。よって、県西部ですが同じような活動をしている学校もあり、それらの学校が集まり成果発表や研修を行いました。本校からは2年生の山根瑞紀さんと石田梨紗さんが出席して発表をしました。実に堂々とした発表でした。



## (お知らせ) 吉賀高校キャリア教育成果発表会!!

3月9日(月) 12:50~ 吉賀町林業センター(入場無料) 吉賀高校と地域の皆様とのつながりを伝えます。『吉高のことはあまり知らないんだけど...』という方にこそお伝えしたい内容です。

中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内) -

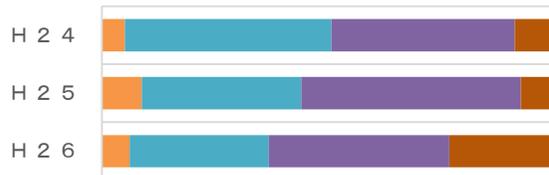
## 中高一貫教育年度末アンケートの集計結果です!(一部抜粋)

昨年末に実施した中高一貫教育年度末アンケートでは、小学校6年生、中学校3年生、高校3年生の保護者の皆さんを始め、たくさんの方々にご協力いただきました。本当にありがとうございました。集計結果の一部を紹介します。

『吉賀地域中高一貫教育の取り組みについて、総合的にどの程度ご存知ですか。』

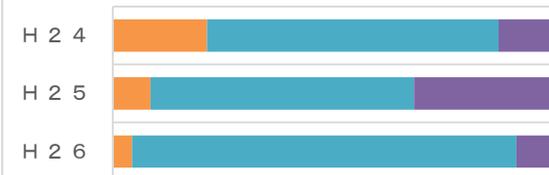
### 小学校保護者

■ 1 よく知っている ■ 2 ほぼ知っている  
■ 3 あまり知らない ■ 4 知らない



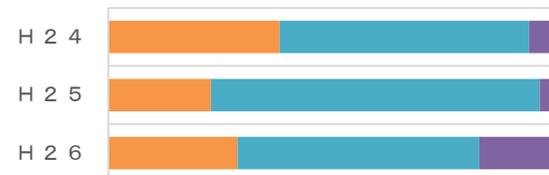
### 中学校保護者

■ 1 よく知っている ■ 2 ほぼ知っている  
■ 3 あまり知らない ■ 4 知らない



### 高校保護者

■ 1 よく知っている ■ 2 ほぼ知っている  
■ 3 あまり知らない ■ 4 知らない



☆小学校では、年度が新しくなるにつれて、取り組みの認知度が下がってきています。

☆中学校では、高い認知度が維持されています。

☆高校でも高い認知度が維持されていますが、H26年度が少し下がっています。

◎結果を受けて、次のような改善を図っていきます。

- ①それぞれの活動の「ねらい」を明確にし、「めざす生徒像」との関わりをわかりやすくします。
- ②特に小学校世代の保護者に向けたPR活動に積極的に取り組みます。